

処方箋

カルテ番号		発行	年	月	日
病名					
処方	<p>・薬剤名（一般名）：アセトアミノフェン</p> <p>・英名：Acetaminophen</p> <p>・分類：非ピリン系解熱鎮痛薬</p> <p>・分類（略称）：解熱鎮痛</p> <p>・用法：経口、坐剤、注</p> <p>・表示区分：なし・劇薬</p> <p>[禁忌・慎重投与]</p> <p>・禁忌：消化性潰瘍、重篤な血液異常・肝障害・腎障害・心機能不全のある者、過敏症既往歴、アスピリン喘息またはその既往歴のある患者</p> <p>・慎重投与</p> <p>[作用]</p> <p>正確な作用機序は解明されていないが解熱作用については、視床下部の体温調節中枢神経に作用すると考えられている。</p> <p>また、鎮痛作用については痛覚閾値を上昇させると考えられている。</p> <p>[適応]</p> <p>経口・坐剤：下記の疾患並びに症状の鎮痛</p> <p>頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症</p> <p>以下の疾患の解熱・鎮痛（急性上気道炎、ただし急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）</p> <p>小児科領域における解熱・鎮痛</p> <p>注：経口製剤及び坐剤の使用が困難な場合における疼痛及び発熱</p> <p>[副作用]</p> <p>TEN、SJS、劇症肝炎、喘息発作誘発、間質性腎炎、AKI など。</p> <p>豆知識（国試対策事項や使用の注意等）</p> <ul style="list-style-type: none">●最高投与量は成人で 4000 mg/日、小児で 1500 mg/日。●過量投与時の解毒薬はアセチルシステインがある。●鎮痛効果は NSAIDs には劣るが適正使用の範囲においては副作用は少ない。●小児・妊婦への安全性が高い。●小児用量は 10-15 mg/日。●注射製剤は 15 分「で」投与する。				